

テクトロ社Auriga 及び Aurigaコンプ ディスクブレーキのメンテナンス

ブレーキパッドの交換

ブレーキパッドはオイル等で汚れた場合や厚さが0.8mm以下に磨耗した場合は交換の必要があります。(ブレーキ取付け方参照)

自転車乗車前の点検

ブレーキパッドの磨耗、汚れの点検。
ブレーキホースのひび割れや消耗、変形の点検。必要があれば交換して下さい。
ブレーキの制動機能の点検。

自転車乗車後の点検

ブレーキキャリパーとローター付近に付いた泥や汚れを除去して下さい。
ブレーキキャリパー本体に付いた汚れをウェス タオル等できれいにして下さい。

定期的な点検

ブレーキレバーのオイルリザーバー内のミネラルオイルの残量の確認をして下さい。
ブレーキレバーのピボット付近にグリスを注油して下さい。
ブレーキの各取付けボルト類が適正な締め付けトルク値で固定されていることを確認して下さい。

<補修用部品> お求めはお近くの販売店へお問い合わせください。

- #201060 テクトロAurigaコンプ用フルード50cc
- #201061 テクトロAurigaコンプ用ケーブルホース)
- #201072 テクトロAurigaコンプ用パッド

地球を楽しくしたい

RITeway
PRODUCTS JAPAN

ライトウェイプロダクツジャパン株式会社
TEL:03-5950-6002 URL: <http://www.riteway-jp.com>

イントロダクション

油圧式ディスクブレーキは従来のケーブル式ブレーキよりも制動力が高く、ケーブルの伸び、抵抗も無く滑らかな悪路、泥路面、長い下り坂でも少ない力で安定した制動力があり、たとえリムが凹んでしまってもブレーキングを継続することが可能な機能的に優れている特長があります。

この油圧式ディスクブレーキはテクトロ社の新しい製品です。このオープンシステム デュアルピストンブレーキは従来のディスクブレーキの優れているいくつかの特長を集約することによってテクトロ社のこれまでのディスクブレーキを超える性能の製品になっています。反応が良く制動力も高いこのディスクブレーキは、オートマチック キャリパー調整機構により取付けと調整も簡単になっています。環境にやさしいミネラルオイルと制動力の高いパッドを使用しています。標準ローター径は160mmです。180mm、203mmローターのオプションもあります。

この油圧式ディスクブレーキの性能をすべて引き出してトラブルもなく安全に使用するために必ずこの取扱説明書をお読み下さい。

警告と注意事項

警告-このテクトロ社の油圧式ディスクブレーキはケーブル式リムブレーキよりもはるかに高いブレーキ制動力があります。ブレーキの制動力に慣れるまで平地でテストをして下さい。また他の人に自転車を貸す場合も必ず乗車する人がブレーキの制動力に慣れるまでテストして下さい。

警告-テクトロ社の油圧式ディスクブレーキを操作する前に必ずこの取扱説明書をお読み下さい。ご不明な点がありましたらお買い上げいただいた販売店までお問合せ下さい。

警告-ディスクブレーキのキャリパー及びローター、パッドはブレーキングにより高温になります。高温のブレーキに触ると火傷をしますので注意下さい。ブレーキのメンテナンスを行う際は十分に冷えたことを確認してから作業を行って下さい。

警告-ブレーキよりオイルが漏れている場合は直ちに自転車の乗車を止めて下さい。正しい修理を行って下さい。オイル漏れしたままブレーキを使用し続けるとすぐにブレーキは機能しなくなります。

警告-テクトロ社 Auriga 及び Aurigaコンプ油圧式ディスクブレーキは強力な制動力があります。
注意-自転車の乗車前にブレーキパッドの厚みが0.8mm以上あることを確認して下さい。ブレーキパッドはオイルやブレーキフルードなどが付着していないきれいな状態を維持して下さい。もしブレーキパッドにオイル類が付着した場合は、新しいパッドに交換して下さい。

注意-テクトロ社 Auriga 及び Aurigaコンプ油圧式ディスクブレーキではミネラルオイルのみをご使用下さい。他ディスクフルードを使用するとブレーキ本体を傷めることがあります。

ミネラルオイルの使用上の注意事項

1. ミネラルオイルが眼に入ると眼球が炎症を起こすことがあります。必ず防護メガネを装着してミネラルオイルが眼に入らないようにして作業をして下さい。
2. ミネラルオイルが肌に着ると炎症を起こすことがあります。必ず防護手袋をして作業をして下さい。
3. ミネラルオイルは揮発性があり取り込むと健康に良くありません。部屋の換気に注意して作業をして下さい。
4. ミネラルオイルを飲まないように注意して下さい。飲み込むと下痢や嘔吐を発症します。
5. ミネラルオイルは子供の手の届かない場所に保管して下さい。
6. ミネラルオイルの容器を切らないように注意して下さい。熱や圧力によって爆発、引火する可能性があります。

●救急措置

1. もしミネラルオイルが眼に入った場合は、すぐにきれいな水で眼球を洗浄して病院に行ってください。
2. もしミネラルオイルが肌に付着した場合は、石鹸水で洗浄して下さい。
3. ミネラルオイルを吸い込んだ場合は、すぐに換気の良い場所に移動して下さい。すぐに病院に行ってください。

●廃油の処理

1. 各地域の処理方法に従ってください。

●ミネラルオイルの保管方法

1. 暗い場所で室温以下で保管して下さい。
2. 直射日光が当たらないように保管して下さい。

取付け方法

a. 必要な工具類

下記の工具類と部品が必要です。

1. 2mm六角レンチ
2. 4mm六角レンチ
3. 5mm六角レンチ
4. T25トルクスレンチ



b-1: ハブにローターを装着する。

b. ローターのハブ取付け方法

1. 車輪を自転車から外して下さい。ローターを付属トルクスボルトでハブにT25トルクスレンチを使用して取付けて下さい。締め付けトルク値、4-6Nmです。(写真b-1参照)

備考: ローターには回転方向があります。車輪の回転方向と合わせてハブに取付けて下さい。

2. メーカーの取付け方法に従って車輪を自転車に再装着して下さい。

c. Aurigaブレーキレバーの取付け方法。

1. ブレーキレバーのホースがハンドルバーの中心に向く方向にブレーキレバーをハンドルバーにスライドさせて装着して下さい。一般的にラビッド式シフターはブレーキレバーを先に装着します。グリップ式シフターは先にハンドルバーに装着してからブレーキレバーを装着します。(写真c-1参照)

2. メーカーの取付け方法に従ってグリップ、シフターをハンドルバーに装着して下さい。

3. シフターを固定した後はブレーキレバーを5mm六角レンチを使用して締め付けトルク値6-8Nmで固定して下さい。(写真c-2参照)

4. ブレーキレバーのリーチは2mm六角レンチを使用してレバーにあるリーチ調整ボルトで調整することができます。(写真c-3参照) もしブレーキすべての調整後にリーチ調整をした場合はパッドの再調整が必要になります。(ブレーキパッドの調整方法を参照)



c-1: ハンドルバーにブレーキレバーを装着する。



c-2: ブレーキレバークランプを固定する。



c-3



c1-1: ブレーキレバーの固定クランプをハンドルバーに添える。



c1-2: ブレーキレバー固定クランプを固定する。



c1-3

注意-ブレーキレバーに装着されているボルト類は完全に取り外さないで下さい。